

アクションプランの位置付けと、2次交通対策の全体スケジュール

アクションプランの位置付け

- 「北海道新幹線新小樽（仮称）駅周辺まちづくり計画」（H29.3月策定）に基づき、新幹線の開業効果を最大限に活用した魅力あるまちづくりを目的として、2次交通対策・ソフト対策を中心に、官民で取り組む事項を登載する「具体的な行動計画」
- ただし、登載する各取組については、開業まで時間があり、今後の状況変化も想定されるため、現時点で実施を決定するものではない。アクションプランには、現時点で考え得る、現実的かつ効果的と考えられる取組を広めに登載し、策定後、各事業主体を中心に実現可能性を検討し、可能な事業から実施に向け取り組むとともに、市を中心に支援策等についても検討するものとする。
- アクションプランは、策定後、必要に応じて見直しを検討するものとする。

2次交通対策の全体スケジュール

開業約半年前
新幹線ダイヤ発表予定

令和12(2030)年度末
新駅開業予定

| | 第1フェーズ（実行可能性調査） <small>フィジビリティスタディ</small> | 第2フェーズ（実行準備） | | 第3フェーズ（実行） |
|-----------------------|---|--|--|--|
| | R3～R9（開業9～3年前） | R10～R11（開業2～1年前） | R12（開業年度） | R13～（開業後） |
| 事業主体を中心とした主な取組 | <ul style="list-style-type: none"> ○バス・乗合タクシーの需要・採算性の検討（実現可能性検討） ○ICT活用など新たな取組の研究・実証実験 ○駅前広場等の機能確保 ○レンタカー等の事業用地確保 | <ul style="list-style-type: none"> ○運行路線の絞り込み ○運行計画、法定手続 ○必要な車両、設備等の検討 ○レンタカー等の事業者誘致、拠点整備 | <ul style="list-style-type: none"> ○運行路線決定 ○必要な車両、設備等の導入 ○レンタカー等拠点の設置 ○PR等、利用促進策の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ○バス・タクシーの運行、必要に応じて路線・ダイヤの見直し ○レンタカー等拠点の稼働、必要に応じて運用見直し ○利用実態調査 ○PR等、利用促進策の継続 |
| 市を中心とした支援策等の検討 | <ul style="list-style-type: none"> ○事例研究、実現可能性検討等・既存事業者以外も含めた運行主体の検討も行う | <ul style="list-style-type: none"> ○運行支援スキームの構築 ・国の補助制度等の活用検討 ・市補助金、関係自治体負担金の検討 ・受益者（例：宿泊施設・商店街）負担金の検討 ○運行支援内容の検討 ○運行主体の調整 | <ul style="list-style-type: none"> ○運行支援の実行（例：運行補助、車両・設備導入補助、レンタカー等の事業者誘致のインセンティブ） ○必要に応じて運行支援スキームの見直し | |